



TOKYO GEIDAI

小学館
SHOGAKUKAN



2024年3月12日
国立大学法人東京藝術大学
株式会社小学館
東日本旅客鉄道株式会社

藝大×小学館×JR 東日本がアートでつながる！

藝大アートプラザ・アートアワード授賞式を上野駅 13 番線『PLATFORM 13』で開催

- 国立大学法人東京藝術大学（以下 東京藝術大学）と株式会社小学館（以下 小学館）が共同で運営する「藝大アートプラザ」は年に一度、東京藝術大学の学生を対象としたアートコンペ「藝大アートプラザ・アートアワード」を開催しています。
- 18 回目となる本年度（2023 年度）は美術部門（平面、立体作品）に加え、東日本旅客鉄道株式会社（以下 JR 東日本）も参画し、あらたにデジタルアート部門を創設しました。
- 本年度の授賞式は、3 月 21 日（木）、審査を務めた日比野克彦・東京藝術大学長ならびに箭内道彦・東京藝術大学美術学部教授／藝大アートプラザ所長、各受賞者などが列席し、上野駅 13 番線『PLATFORM13』で開催します。

なお、現在、上野駅 13 番線『PLATFORM13』にて藝大アートプラザ・アートアワードデジタルアート部門の入選作品を投影しております。

1. 授賞式の概要

日時：2024年3月21日（木）11時00分～

場所：上野駅 13 番線「PLATFORM13」



上野駅 1階位置図



「PLATFORM13」の様子

2. 受賞作品

美術部門、デジタルアート部門の両部門合わせて 70 点以上の藝大生の作品が応募され、厳正な審査の上、大賞、準大賞、小学館賞、J R 東日本賞、審査員特別賞の各賞※が選出されました。

※受賞作品、受賞者、および、審査の様子は下記 URL 藝大アートプラザ HP をご参照ください。

<https://artplaza.geidai.ac.jp/column/22350/>

3. 三者の取り組みについて

東京藝術大学と小学館は 2018 年から藝大アートプラザを共同で運営し、2022 年には包括連携協定を結び、若手クリエイターの支援、および、アートを通じて共生社会をつくるための共同事業を手がけています。

また、J R 東日本は 2023 年に東京藝術大学と包括連携協定を締結し、「アート」を軸とした新しいサービス・価値の提供を目指し、上野駅 13 番線ホームを「PLATFORM13」として、13 番線地平ホーム壁面にプロジェクターを用いてデジタルアート映像を大きく投射し、お客さまが気軽に芸術に触れ合える機会を提供します。

東京藝術大学と小学館が運営する藝大アートプラザのアートアワードの授賞式を JR 東日本の駅ホームで開催することは、三者がそれぞれの枠を超えて連携し、アートの新しい可能性や役割を探るための第一歩になると考えています。